

北海商科大学懸賞作文表彰あいさつ

今年で9回目になる北海商科大学懸賞作文へご応募頂きありがとうございました。

この懸賞作文は「高校生の鋭い観察眼で現代の市場、マーケティングに関心を持って頂くことを趣旨」として 商学、観光産業に関心を寄せ、研究をしようとしている高校生の積極的な応募を期待し実施しております。

今回のテーマとしては、日本と世界の人に広く薦めたい

- ① 私のまちの観光スポット
- ② 私のまちのグルメ
- ③ 私のまちのお土産

として、今年も新型コロナウイルス感染防止対策中の、夏休み明けの時期の締切ではありましたが、道内各地の高校の生徒さんを中心に合計 62 名の応募があり、その中から優秀な、17 名の方々が入賞されました。今回は①の私のまちの観光スポットをテーマとする応募が最も多く、次が②私のまちのグルメでありました。

(観光スポット 41 名、グルメ 17 名、お土産 4 名)

今年の表彰式も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、残念ながら中止とさせて頂きましたので、結果につきましてはホームページ上で発表とさせて頂き、応募された方々の高校の先生より表彰状、副賞をお渡しさせて頂きますことをご容赦下さい。

北海商科大学は、国際社会の中で、グローバルな活動をするビジネスを学ぶための「商学」と日本の新たな基幹産業である「観光産業」を学び、それぞれの分野で活躍できる人材を育成するための大学で、これまでに皆さんの高校の先輩たちをはじめ多くの卒業生が日本国内はもとより世界で活躍しています。

今後もこの作文の趣旨の、北海道の観光産業や商学に関わる学びを継続して頂くことを期待し、簡単ではありますが学長あいさつといたします。

学長代行 伊藤 昭男